

# 令和 3 年 度 事 業 報 告 書

## I 基本方針に関する総括

令和 3 年度は任期満了による役員の改選を行い、会長、副会長をはじめ新たな体制のなかで事業を実施した。前年度より引き続いて新型コロナウイルス感染症が猛威を振るうなか、感染拡大防止策を講じながら、理念として掲げる「住民主体」を実現するため、地区社協分会や自治会を基盤とした「小地域における福祉活動」を推進していくことを基本に事業の展開を図ってきたところである。

地域福祉活動については、新型コロナウイルス感染症に起因する生活課題はもとより、様々な課題について対応できるよう、生活福祉資金の貸付をはじめ生活困窮者自立相談支援事業及び家計改善支援事業や福祉サービス利用援助事業等の制度を総合的に展開しながら、社協だけでなく関係機関との連携や連絡を密にすることで悩みごとを抱える世帯であっても住み慣れた地域、住み慣れた家で自立した生活を送ることができるよう包括的な対応に努めた。

高齢者ふれあい・いきいきサロンについては、集合型のサロン開催が困難な時期が続くなかではあるが、訪問活動や感染対策を行っての短時間の集合型サロンの開催など、地域によって工夫をしながら実施ができるよう相談助言を行い、助成金と併せて支援を行った。

介護保険事業は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、訪問型サービスや小規模の通所型サービスへの期待が高まるなか、職員のみならず利用者やその家族等の感染予防を徹底しながら、サービスを必要とする利用者に対する支援が止まることのないように事業継続に努めた。

保育園事業については、保護者との連絡を密にして感染対策に努めながら開所し、地域の保育ニーズに応えるべく事業を行った。また、大瀬保育園で行う一時保育について、余裕活用型保育事業とするなど、保育ニーズへの柔軟な対応に努めた。

社協が行う事業を単に個別事業として実施するのではなく、地域福祉事業の推進を図るため包括的な事業展開を図ってきたところである。

## II 事業重点項目及び実施事業

- 1 組織運営体制の強化
- 2 地域福祉活動の強化・充実
- 3 介護保険サービス事業の強化・充実
- 4 保育所運営による子育て支援の充実

以上 4 つの事業重点項目に基づいて、事業を実施した。詳細については以下による。

## [ 1. 組織運営体制の強化]

### ( 1 ) 組織体制

役員体制 理 事 10名(会長1名 副会長2名)

監 事 2名

評議員 14名

地区社協 7地区分会(内子・五城・大瀬・立川・満穂・五十崎・小田)

職員体制 (令和4年3月31日現在)

	職員	継続雇用	嘱託	非常勤
本所	5	0	3	8
小田支所	2	0	0	5
五十崎事業所	5	1	0	4
たんぽぽ	3	0	0	8
内子保育園	10	0	1	13
くるみ保育園	12	1	0	10
五城保育園	9	1	1	11
大瀬保育園	8	0	0	8
合計	54	3	5	67

### ( 2 ) 理事会の開催

#### ① 令和3年6月10日(木) 内子町役場分庁 3階大会議室

出席理事 12名 出席監事 2名

・報告第1号 令和2年度補正予算(第4号)の専決処分について

・議案第1号 令和2年度事業報告について

・議案第2号 令和2年度収入支出決算の承認について

#### 【監査報告】

・議案第3号 令和3年度補正予算(第1号)について

・議案第4号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の委員の選任について

・議案第5号 評議員候補者の推薦について

・議案第6号 役員(理事・監事)の候補者について

・議案第7号 定時評議員会の開催について

#### ② 令和3年6月25日(金) 内子町役場分庁 4階委員会室

出席理事 9名 出席監事 2名

・議案第1号 会長、副会長の選任について

③ 令和3年12月14日(火) 内子町役場内子分庁 3階大会議室

出席理事 10名 出席監事 2名

- ・議案第1号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会職員給与等規程の一部変更について
- ・議案第2号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の委員の選任について
- ・議案第3号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
- ・議案第4号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会会長の報酬に関する規程の一部改正について
- ・議案第5号 令和3年度補正予算(第2号)について
- ・議案第6号 評議員会の開催について

④ 令和4年3月11日(金) 内子町役場内子分庁 3階大会議室

出席理事 8名 出席監事 2名

- ・議案第1号 令和3年度補正予算(第3号)について
- ・議案第2号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会職員給与等規程の一部改正について
- ・議案第3号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正について
- ・議案第4号 令和4年度事業計画について
- ・議案第5号 令和4年度当初予算について
- ・議案第6号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・議案第7号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会ハラスメント防止規程の一部改正について
- ・議案第8号 施設長等の承認について
- ・議案第9号 評議員会の開催について

(3) 評議員会の開催

① 令和3年6月24日(木) 内子町役場内子分庁 4階委員会室

出席評議員 9名

- ・報告第1号 令和2年度補正予算(第4号)の専決処分について
- ・議案第1号 令和2年度事業報告について
- ・議案第2号 令和2年度収入支出決算の承認について

【監査報告】

- ・議案第3号 令和3年度補正予算(第1号)について
- ・議案第4号 理事・監事(役員)の選任について

② 令和3年12月24日(金) 内子町役場分庁 3階大会議室

出席評議員 12名

- ・議案第1号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会職員給与等規程の一部変更について
- ・議案第2号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会会長の報酬に関する規程の一部改正について
- ・議案第3号 令和3年度補正予算(第2号)について

③ 令和4年3月23日(木) 内子町役場分庁 3階大会議室

出席評議員 9名

- ・議案第1号 令和3年度補正予算(第3号)について
- ・議案第2号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会職員給与等規程の一部改正について
- ・議案第3号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正について
- ・議案第4号 令和4年度事業計画について
- ・議案第5号 令和4年度当初予算について
- ・議案第6号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・議案第7号 社会福祉法人内子町社会福祉協議会ハラスメント防止規程の一部改正について

### (3) 職員研修

令和3年 6月 2日	市町社協生活福祉資金担当者会議 (WEB)
令和3年 7月 9日	階層別研修 (新任職員研修)
令和3年 7月16日	福祉サービス利用援助事業専門員連絡会 (WEB)
令和3年 8月 4日	権利擁護推進のための担い手学習会 (WEB)
令和3年 8月23日	生活支援コーディネーター研修会 (WEB)
令和3年 8月24日	防災に関する研修会 (WEB)
令和3年 9月13日	法テラス愛媛地方協議会 (WEB)
令和3年10月28日～29日	災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修
令和3年11月 9日	松山地方裁判所大洲支部家事関係機関連絡協議会
令和3年11月12日	市町社協テーマ別研修会
令和3年11月24日	ボランティアコーディネート力向上研修会
令和3年12月10日	福祉サービス利用援助事業専門員・支援員研修 (WEB)
令和4年 2月10日	成年後見制度利用促進検討会 (WEB)
令和4年 3月 8日	豪雨災害から学ぶ生活支援体制強化研修 (WEB)
令和4年 3月15日	市町社協事務局長会議

## [2. 地域福祉活動の強化・充実]

### (1) ボランティア活動の推進

#### 1 登録ボランティア団体への活動支援

これまで登録いただいていた11のボランティア団体に新たに小田寮生サポーターを加え、計12団体となった。安心して活動できるようボランティアセンターにおいて活動保険に加入し、各団体の要望に沿ってホームページ等により活動紹介などを行った。

なお、令和3年度において、ボランティア活動中に刈払機による賠償事案が発生したため、保険適用を行った。

## 2 南予地域ボランティア交流会

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった。

## 3 ボランティア育成

Web形式の導入や日程延期などを模索しながらではあるが、計4回にわたる傾聴ボランティア養成講座を開設することができた。第2回目以降は講師とのマンツーマンによるロールプレイを行うなど、体験型の講座を取り入れるなど実践的な講座を実施した。

## 4 災害ボランティア活動への取組

令和3年度モデル研修事業として、「内子町タイムライン作成研修」が城廻自治会をモデルに実施された。防災図上訓練指導員による講話、自治会長をはじめ区長、防災士、消防団、民生児童委員などの地域住民に加え、行政、社協、ケアマネージャーなどが参集し、それぞれの役割や行動順について共有を行うワークショップなどに参加した。

## (2) 高齢者福祉事業の推進（社協単独事業）

### 1 高齢者ふれあい・いきいきサロンの展開

地域の高齢者同士が顔を合わせる機会を増やして地域コミュニティの強化を図ることや、認知症予防、引きこもり予防の推進を目的に、定期的に活動しているサロンへ活動助成金として参加者一人あたり200円の助成を行った。令和3年度については新型コロナウイルスの感染症対策としての開催自粛要請は行わなかったこともあり少しずつ集合型サロンの開催が増えてきた状況であった。また、18カ所のサロンが訪問による見守り活動を行うなど、それぞれのサロンで工夫しながら活動を継続したなか、内子町地域包括支援センターによる介護予防運動や大洲警察署による交通安全、特殊詐欺等の講演などを20カ所のサロンにおいて実施した。

#### 【実績】

(前年比)

活動サロン数38 (前年比 -7)	内子18 (-2)	五十崎9 (-2)	小田11 (-3)
解散したサロン3	内子2	五十崎1	小田0
サロン登録者数893名 (-89)      年間延参加人数 1,706名 (+602)			

## 2 サロン代表者情報交換会の開催

令和3年11月11日（木）共生館において代表者等約30名が集まり、新たに整備したレクリエーション用具のボッチャ、モルック等の体験研修を行うと共に、コロナ禍におけるサロン活動の工夫などについて事例発表による情報共有を行った。事例発表では、内子・五十崎地区からは声掛けや見守り活動に活用できるチラシや小物作成などの工夫について発表があり、小田サロンからはサロンでの訪問活動をきっかけに民生児童委員と自治会が連携して地域高齢者全体の見守りの取組に広がった事例が発表された。

### (3) 青少年健全育成事業の推進

#### 1 少年式の援助

少年の日の記念行事(中学2年生)に際し、各中学校へ助成金(一人 1,000 円)を贈り、激励を行った。

【実績】

内子中学校：63名	大瀬中学校：7名	
小田中学校：8名	五十崎中学校：31名	合 計：109名

#### 2 ボーイスカウト活動援助

ボーイスカウト活動や年末に実施する「赤い羽根共同募金」の協力に対し、活動助成金として共同募金の配分金を交付した。

#### 3 新生児出生祝い品の贈呈

新生児の出生祝い品として出生届出の際にお手入れセットを贈呈した。

出生届件数 73件

### (4) 共同募金運動の推進

#### 1 共同募金の達成状況

目標額 5,000,000 円を下記のとおり達成し、愛媛県共同募金会へ全額送金致しました。

(募金状況)

(単位：円)

募 金 方 法 別	募金実績額	摘 要
戸 別 募 金	3,020,160	各自治会より
街 頭 募 金	12,713	
法 人 募 金	1,546,000	社協分会特別募金(企業、商店他)
学 校 募 金	53,415	各小中学校 各保育園 幼稚園
職 域 募 金	480,000	役場職員 学校教職員 民生児童委員等
そ の 他 の 募 金	65,976	バッジ募金 ガチャポン募金等
小 計	5,178,264	愛媛県共同募金会に送金
自動販売機等募金	195,548	みどり苑、ｷﾞﾌﾞｰｽﾞ、分庁設置の自販機
合 計	5,373,812	

愛媛県内20市町募金合計額 230,144,161 円(前年比 4,880,891 円減)

## 2 内子町における配分金の使途

事業名・配分先	配分金	配分金の使途
① 地区社協 配分金	1,531,500	7つの社協分会における、前年度共同募金特別募金額 に対して配分し、各地区での地域福祉活動に使用
② 地域福祉活動 援助事業	2,237,402	27自治会へ10万円を限度の配分
③児童青少年 福祉活動事業	30,000	ボーイスカウト活動助成（年末街頭募金実施）
④その他の 活動援助	50,000	うちっこキッチン（注1）
⑤広報啓発活動費	53,240	広報誌掲載、配分委員会
⑥その他	312,478	歳末見守りお餅配布
総 合 計	4,214,620	

（注1）令和3年6月開始の子ども食堂（うちこどもプロジェクト）

### （5）まごころ銀行の有効活用

#### 1 地区社協分会活動への助成

まごころ銀行にご寄付いただいた香典返しの一部を各分会に地域福祉活動の財源として配分し、種々の活動を行っていただいた。

#### 【実績】

内子分会	368,500 円	五城分会	95,000 円
大瀬分会	115,000 円	立川分会	40,000 円
満穂分会	35,000 円	五十崎分会	295,000 円
小田分会	285,000 円	合計	1,233,500 円

#### 2 地域福祉活動への活用

社協本会においては、「高齢者ふれあい・いきいきサロン」への助成をはじめ、「ひとり暮らし高齢者の集い」、「少年の日記念行事」「歳末おもちの配布」など地域福祉事業の財源として活用した。

## (6) 社協活動体制の強化

### 1 地区社協分会の支援、事業助成

- ① 7地区の分会がそれぞれの地域特性に合わせた福祉活動を展開するため、分会活動推進費を交付し、小地域での福祉活動を支援した。(本会納入会費戸数×220円)

#### 【実績】

内子分会	396,220円	1,801戸	五城分会	177,100円	805戸
大瀬分会	104,940円	477戸	立川分会	57,860円	263戸
満穂分会	46,200円	210戸	五十崎分会	444,840円	2,022戸
小田分会	175,780円	799戸	合計	1,402,940円	6,377戸

- ② 令和3年7月13日(火) 7地区の社協分会長と事務局が集い、各分会による独自の活動などについて情報交換を行った。特にコロナ禍での事業の在り方や活動の方法について意見交換を行った。

## (7) 総合相談事業の推進

### 1 生活困窮者自立支援事業

生活保護受給に至る前の段階における第2のセーフティーネットとして、さまざまな生活課題について相談を受け、自立した生活に向けた支援や関係機関への相談斡旋等を行った。17件の相談中プラン作成案件は無かったものの、経済的な課題だけでなく心身に抱える課題など複雑な悩みを抱えている場合が多く、関係機関と連携しながら継続的な支援を行った。

### 2 福祉サービス利用援助事業

成年後見制度利用には至らないが、福祉サービスにかかる契約や日常生活における売買契約などについての判断に不安のある方が、その権利を脅かされることがないよう必要な相談支援を行った。

### 3 各種資金の貸付事業

低所得世帯や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の促進を図り、生活の安定に寄与するため、生活相談と低金利による資金貸付を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響で減収した世帯への特例貸付の受付期間が延長され、申請受付援助を行った。

#### ① 生活福祉資金貸付事業借入相談件数96件(貸付29件)

・特例貸付	相談件数59件	貸付25件
・総合支援資金	相談件数1件	貸付0件
・福祉資金	相談件数36件	貸付4件



令和4年3月31日現在の貸付金額と償還状況

資金種別	貸付世帯数	貸付金額	償還済額
特例貸付 (コロナ)	38世帯	19,750,000円	据置期間中
特例貸付 (豪雨災害)	1世帯	100,000円	5,000円
総合支援資金	1世帯	540,000円	511,040円
教育支援資金	1世帯	936,000円	342,400円

② 小口資金貸付事業（社協単独事業）借入相談件数9件（貸付0件）

低所得者の一時的な所得の低下や急な出費による経済課題に対し、小口資金の貸付を行い、生活の安定に寄与した。

- ・貸付限度額3万円以内（無利子）

4 心配ごと相談所事業

心配ごと相談所を毎月第2火曜日に内子分庁4階に開設し、弁護士（弁護士法人たいよう 池本真彦弁護士）による無料法律相談を実施した。

【実績】

	相談件数	内容
生活・経済に関すること	0件	
家族に関すること	2件	離婚
健康・医療に関すること	0件	
法律に関すること	32件	人権・法律・事故
その他	0件	
合計	34件	※全件傾聴により解決

（8）地域支援事業（町委託事業）の推進

1 生活支援コーディネーター

内子自治センター管内、内子東自治センター管内、小田自治センター管内の3か所で支え合い協議体が開催された。主に高齢者の生活に必要なニーズが地域の福祉関係者に円滑に届く体制づくり推進として、自治会と民生児童委員協議会との連携強化を図ると共に、住民相互の支え合いによる気軽な介護予防などについて話し合った。

## 2 生きがいデイサービス事業

介護予防対策事業の一環として在宅高齢者を対象に内子地区と五十崎地区において実施した。内子保健センター、うちこ福祉館、大瀬生きがい活動センターを利用しながら、看護師による健康チェックとリハビリの指導、オーベルジュ内子での昼食・入浴、帰り道での買い物の援助等を実施した。令和3年度はオーベルジュでの昼食の提供が困難となり、料飲組合のお弁当での対応を行った。また五十崎地区では、デイサービスセンターたんぽぽにおいて実施した。

実施地区：満穂・上立山・下立山・川中・長田横平  
程内熊の滝・程内影浦・富長・和田・池田  
五十崎

### 【実績】

	利用登録者数	実施回数	延利用者数
内子地区	62名	180回	749名
五十崎地区	1名	4回	4名

※ 新型コロナウイルス感染症予防のため8月は食事と入浴なし、9月は全て中止とした。  
また、10月以降については入浴なしでの対応とした。

## 3 家族介護用品支給事業

在宅介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護状態にある高齢者の在宅生活の継続、向上を図ることを目的として、紙おむつの支給を行った。

支給対象者は、要介護3、4、5の認定を受けた高齢者の属する在宅介護世帯であり、毎月20日前後に民生児童委員を通じ、利用者の自宅まで配送を行った。

なお、現物支給の限度額は世帯により37,500円または75,000円となっている。

	実利用者数	実績額
内子地区	66名	2,078,630円
五十崎地区	45名	1,385,380円
小田地区	14名	270,910円
合計	125名	3,734,920円

## (9) その他地域福祉活動

### 1 内子町社会福祉大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送り中止とした。

### 2 「ひとり暮らし高齢者の集い」事業

新型コロナウイルス感染予防のため7分会ともに事業実施を見送ったが、別事業として独自の事業が行われた。

内子分会：内子児童館協力の応援メッセージと地元銘菓、お花等の配布・声掛け

大瀬分会：手指消毒セットの配布・声掛け

小田分会：食料品等の配布・声掛け

### 3 歳末たすけあい事業

歳末お餅配付事業 令和3年12月21日（火）

共同募金配分金を活用し、民生児童委員のご協力により75歳以上のみの高齢者世帯を対象にお餅を贈り、安否の確認とともに愛の一声運動を行った。

#### 【実績】

内子：459 世帯	五十崎：227 世帯	小田：215 世帯	合計：901 世帯
-----------	------------	-----------	-----------

## [ 3. 介護保険サービス事業の強化・充実]

### （1）経営の効率化の推進

新型コロナウイルス感染拡大のなか、利用者の生活に必要なサービスを継続できるように、抗原検査キット等を活用するなど感染症対策を徹底しサービスの提供を行った。また、利用者数や運営状況にあわせ、訪問介護事業所においてはサービス提供責任者の減員、通所介護事業所においては介護職員の増員をそれぞれ検討しながら事業を進めた。

居宅介護支援事業所	管理者 1 名 介護支援専門員 3 名
訪問介護事業所 障がい福祉サービス事業所	管理者 1 名 サービス提供責任者 2 名（内 1 名兼務） 非常勤職員 4 名
訪問介護小田事業所 障がい福祉サービス小田事業所	管理者 1 名 サービス提供責任者 2 名（内 1 名兼務） 非常勤職員 5 名
通所介護事業所	管理者 1 名 看護職員 1 名 介護職員 1 名 非常勤職員 9 名

### （2）サービス向上の職員研修

集合型による介護技術研修の開催が困難な中、オンライン研修に積極的に参加し、その内容をもって事業所内研修を行うなど、工夫をしながら職員資質の向上を図り介護サービスの向上に努めた。

- ・福祉の職場チームリーダー研修会
- ・介護職レベルアップ講習会
- ・介護中堅職員研修会
- ・虐待防止研修会（Web）
- ・認知症介護研修会（Web）

## [ 4. 保育所運営による子育て支援の充実]

新型コロナウイルス感染拡大をうけ、保護者との連絡を密にしながら、感染予防を徹底して保育を継続した。

保育園入所児童数

令和4年3月31日現在

	0 歳	1・2 歳	3 歳	4・5 歳	計	備考
内子 保育園	3 名	2 4 名	1 6 名	3 5 名	7 8 名	
くるみ 保育園	3 名	3 5 名	2 0 名	3 5 名	9 3 名	
五城 保育園	3 名	2 3 名	1 2 名	3 0 名	6 8 名	
大瀬 保育園	3 名	1 2 名	1 0 名	8 名	3 3 名	
合計	1 2 名	9 4 名	5 8 名	1 0 8 名	2 7 2 名	

## [ 5. 収益事業]

### 介護用品販売事業

内子町からの委託を受けている家族介護用品支給事業により、在宅で常時紙おむつ等が必要な方を介護している家族に紙おむつを支給すると共に、病院や施設などで紙おむつ等を必要とされる方への販売を行った。（紙おむつ、尿とりパッド、はくパンツ他）  
なお、収益については、780,000円を社会福祉事業に活用した。

(資 料)

令和4年3月31日現在人口等 （広報うちこ）

<u>人口</u>	<u>15,607人</u>	<u>世帯数</u>	<u>7,041世帯</u>
男	7,489人		
女	8,118人		